

電子くじについて

1. 電子くじとは

入札において、落札(候補)となるべき同価の入札をした者が2者以上の場合には、電子入札システムに組み込まれた「電子くじ」機能を使用し、落札(候補)者を決定するものです。

2. 電子くじの仕組み

(1) 入札書提出時、応募者は任意の3桁の「くじ入力番号(「000」から「999」の数字)」を入力します。

紙入札で参加の場合は、入札書に記載された「くじ入力番号」を開札時に契約検査課においてシステムに入力します。なお、紙入札において「くじ入力番号」の記載の無いものは「くじ入力番号」を、入札書記載金額の上3桁の数字を「くじ入力番号」とみなすものとする。

(2) 入力された「くじ入力番号」にシステムで発生させる乱数(数字3桁)を加算し、加算された数字の下3桁を「くじ番号」とします。

(「くじ番号」は、入札書提出後、「入札書受付票」で確認することができます。)

(3) 電子くじ対象業者について、システムにおいて入札書を受信した順に、0、1、2…と入札書到着順位をつけます。また、紙入札による場合も同様に入札書の提出順に入札書到着順位をつけます。その際、紙入札の順位は、電子入札の順位の後に付加するものとしします。

(4) 次の数式で得られた「余り」の整数に一致した入札書到着順位の応募者が落札(候補)者となります。

電子くじ対象業者のくじ番号(くじ入力番号+乱数)の合計÷電子くじ対象業者数

(5) 事後審査型条件付一般競争入札の場合においては、落札候補者として事後審査を行う順位を電子くじにより決定します。まず、落札候補者(第1順位)を決定し、その後、残りの業者について(4)の計算を繰り返し行い、審査を行う順位(第2順位以降)を決定します。

3. 電子くじの判定例

A社、B社、C社、D社、E社の参加者が同価格で電子くじを行う場合

(1) 入札書受信(提出)日時の早い順番に0(ゼロ)番から順位を割り当てます。

入札参加業者	くじ入力番号	乱数	合計	くじ番号(*1)	入札書提出日時	入札書到着順位
A社	308	990	1298	298	2011/12/7 9:12:36	0
B社	008	303	311	311	2011/12/7 13:25:51	1
C社	877	111	988	988	2011/12/8 14:15:11	2
D社	123	251	374	374	2011/12/8 15:56:05	3
E社	678	392	1070	070	2011/12/9 9:30:05	4

(*1) くじ番号…くじ入力番号と乱数の合計値の下3桁

(2) 当選番号（余り）の計算をします。

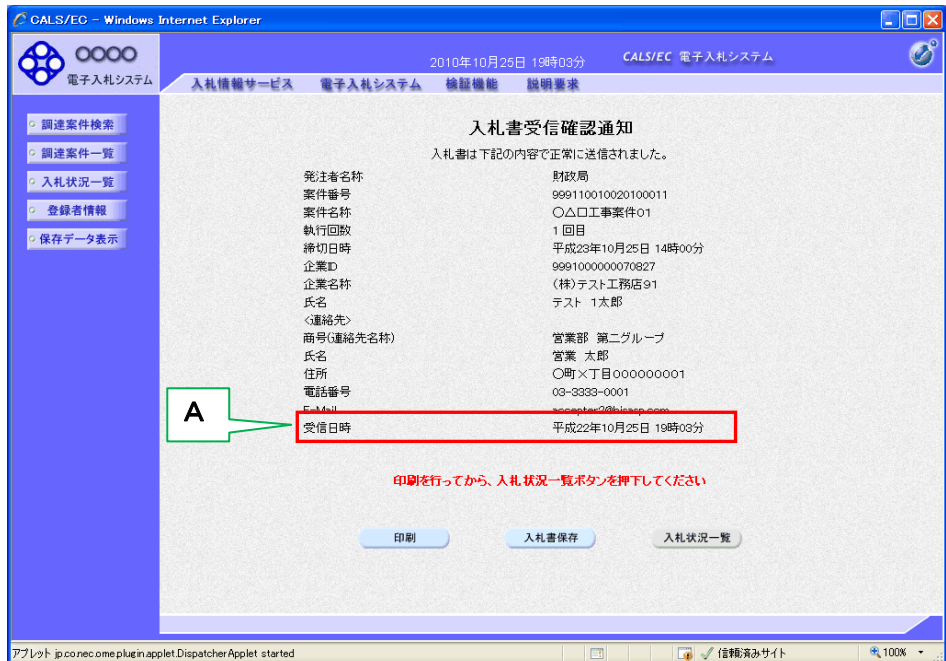
「くじ番号の合計」÷「電子くじ対象業者数」の計算の結果、余り=1となり、入札書到着順位=1であるB社が落札（候補）者となります。

入札参加業者	入札書到着順位	くじ番号	計算結果	余り	落札（候補）者
A社	0	298	$(298 + 311 + 988 + 374 + 070) \div 5 = 408$ 余り 1	1	B社
B社	1	311			
C社	2	988			
D社	3	374			
E社	4	070			

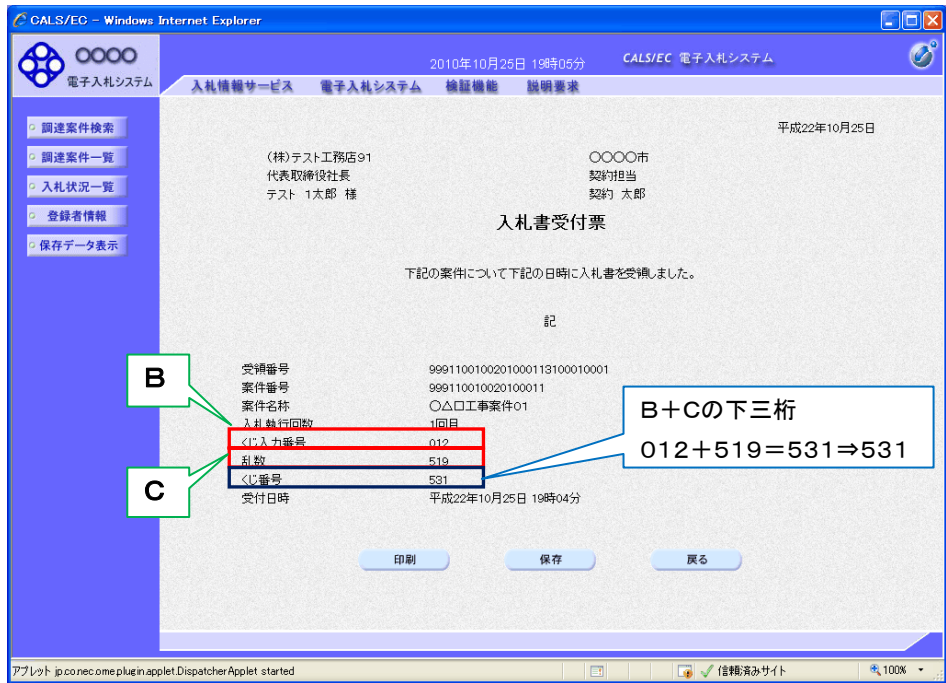
【参考】

くじに用いる情報は、電子入札システムで入札書を送信した後に確認することができます。

A 入札書提出日時
 （入札書がシステムに正常に格納された時間）
 ※紙で入札書を提出した場合は、発注者が開札時に入札書の情報を登録した時間となります



B くじ入力番号
 （入札参加者が入札書提出時に入力した3桁の数字）



C 乱数
 （入札書受付票発行時にシステムが自動的に発行する3桁の数字）